

# 広げよう！友だちの輪、深めよう！国際交流

～場の設定や活動の内容を工夫した「湖の子」の夕べの実践研究～

## 航海の特色

本航海では「湖の子」の夕べを二部構成とする。第一部は学校概要の紹介だけでなく、学習発表会を取り入れ、互いの学校の親睦を図る。第二部は児童の興味・関心から四つの活動を設定し、班対抗のゲーム大会をする。学習室だけでなく活動室も使った少人数での交流をいくつか設定することにより、一人ひとりが自分のよさを発揮し、班の交流が深まり、「班のみんなのためにがんばって取り組んだ」や「班の人といっしょに協力してできた」という満足感を得ることができる。

## (1) 航路

<1日目>

大津港-----多景島-----長浜港  
10:00発 (13:00) 14:00着

<2日目>

長浜港-----竹生島港-----奥琵琶湖-----白石-----沖島-----大津港  
8:00発 9:00着 10:00発 (12:30) (13:20) 15:30着

## (2) 展開事例

### 学校での事前学習

- ◎自分の学校をよく知ってもらうための学校紹介を考えよう。
  - ・最近、学校で取り組んでいることを紹介するなど内容を考える。
  - ・ヒデオやデジタルカメラを使用するなど紹介方法を考える。
- ◎少人数ですぐに楽しめそうなゲームを考えよう。
  - ・アンケートを取るなどして、「うみのこ」でできる遊びやゲームを立案する。



### フローティングスクールでの学習

ふれあい体験学習<1日目 11:20～11:40・活動班ごと>

- ◎「湖の子」ゲーム大会の計画を立てよう。
  - ・自己紹介、班のめあてを決定した後、出場する種目を決める。

ふれあい体験学習<1日目「湖の子」の夕べ>

【第1部】

- ◎学校紹介(学習室)<19:00～19:40・全児童>
  - ・ヒデオやデジタルカメラを使った学校紹介をする。
  - ・歌や台奏で学習発表会をする。

【第2部】

- ◎「湖の子」ゲーム大会<19:50～20:20>
  - ・朝鮮すごろくをしよう。(活動室)
  - ・シッティング風船バレーをしよう。(学習室)
  - ・「湖の子」カルタをしよう。(活動室)
  - ・百人一首をしよう。(活動室)

各種目の得点は勝つと2点、引き分けると1点、負けると0点とし、班対抗で総合得点を競う。

- ◎成績発表(学習室)<20:20～20:30>
  - ・各種目の得点を合計して、順位を発表する。

### (3) 活動の様子

#### ◎「湖の子」ゲーム大会の計画を立てよう



出場種目を決める班会議

#### ◎「湖の子」の夕べ 【第1部】学校紹介



ハングル語講座で交流

#### ◎「湖の子」の夕べ 【第2部】「湖の子」ゲーム大会



百人一首



朝鮮すごろく



シッティング風船バレー



「湖の子」カルタ

#### 【児童の声】

- ・風船バレーに出場しました。思ったところに飛ばすことができなかつたけど楽しかったです。
- ・百人一首は学校でも今がんばっているの、あまりたくさんとれなかつたけれどがんばってできました。
- ・初めて朝鮮すごろくをしました。最初やり方がわからなかつたけれどやってみるとおもしろかったです。
- ・「湖の子」カルタでは、「湖の子」給食や琵琶湖のことをたくさん知ることができました。
- ・他の種目もやってみたかったです。
- ・学校紹介でお互いの学校のことがよくわかりました。ゲームでは今まで親しくなかつた人ともながよくなりました。

#### 【指導者の声】

- ・今、学校で取り組んでいることをゲームの一つとして取り入れることにより、児童は意欲的に取り組めた。活動室で実施したのも適当な広さでよかった。
- ・学習室で風船を使ったバレーは、小さいコートででき、思ったよりコントロールもしやすくよかった。
- ・学校紹介や学習発表会を通して、異文化にふれ興味を持つことができた。事後の学習でも意欲的に調べ学習に取り組む姿が見られた。

#### 【指導上の留意点】

- ・各活動の終了時刻を合わせるために、活動時間やルール等を事前に指導しておく。
- ・けがや事故を防ぐために、体を動かす種目については学習室で実施する。
- ・初めて出会った仲間との交流活動となるので、だれもがすくにでき、交流を促すゲームを行う。